

令和元年度

事務事業評価表 A (平成30年度の実績評価)

記入年月日  
平成 31 年 4 月 16 日

事務事業名		河川水質監視事業(水質監視員)				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	050803000234
		政策体系上の位置付け				単独/補助	単独	所属課	030301
政策体系	総合計画の施策名	0508	生活環境の保全			主要事業		生活環境課	
	政策名	05	快適な暮らしのまちづくり			市長マニフェスト			
	施策名	08	生活環境の保全			未来PJ事業		グループ	
	手段名	03	③公害防止活動の推進			合併建設計画事業		環境公害対策G	
		財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	04	01	04	01	00	公害対策事業		
法令根拠	桜川市水質監視員設置要綱					単年度繰返し (年度~)			
	[Do] 1. 事務事業の現状把握(その1)					← 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

手段	①事務事業の概要(事務事業の全体像)		②担当者が行う業務の内容・やり方・手順				
	霞ヶ浦・北浦流域の水質汚濁、ごみの不法投棄等環境悪化の発生状況を的確にとらえる。また水質汚濁の未然防止を啓発し、地域住民の水質汚濁に関する意思を行政に反映させるため、水質監視員制度を設け水質保全対策の効果的推進を図る。		会議(監視員研修会)の開催。 監視員による監視活動報告件数の集計。 水質汚濁事故調査及び原因の究明。看板等の設置。 監視員報酬の支払い(15,000円×21名=315,000円)				

①手段 (担当者の活動内容)								④活動指標 (活動量を表す指標)		単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	01年度 (計画)	02年度 (目標)	03年度 (目標)
霞ヶ浦・北浦流域河川のパトロール、通報の際の現地確認及び対応。								パトロール実施日数		日	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00
								不法投棄看板設置本数		本	25.00	25.00	25.00	25.00	25.00
								水質監視員研修会の参加人数		人	21.00	21.00	21.00	21.00	21.00
											0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)								⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)		単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	01年度 (計画)	02年度 (目標)	03年度 (目標)
市内の河川(一級河川・砂防指定地)								市内の河川数		本	42.00	42.00	42.00	42.00	42.00
											0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
											0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)								⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)		単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	01年度 (計画)	02年度 (目標)	03年度 (目標)
河川・湖沼の水質状態の把握。不法投棄の防止。								水質汚濁の通報件数		件	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
											0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
											0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

③ 投入量(事業費)の推移		29年度 (実績)	30年度 (実績)	01年度 (計画)	期間限定 総投入量		
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		使用料・手数料	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	321	319	332	0
	事業費計(A)	千円	321	319	332	0	
	正規職員従事人数	人	1.00人	1.00人	1.00人		

事業費の内訳	30年度事業費 実績(千円)			01年度事業費 予算(千円)		
	01 報酬	314		01 報酬	315	
	11 需用費	5		11 需用費	17	
	合計	319		合計	332	

④ 当該年度の実施内容		01年度の事業内容	02年度の事業内容	03年度の事業内容
※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する		水質監視員に水質汚濁の未然防止・水質保全対策の効果的推進を図る。	水質監視員に水質汚濁の未然防止・水質保全対策の効果的推進を図る。	水質監視員に水質汚濁の未然防止・水質保全対策の効果的推進を図る。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・主要事業</li> <li>・市長マニフェスト</li> <li>・未来PJ事業</li> <li>・合併建設計画事業</li> </ul>				

事務事業名	河川水質監視事業(水質監視員)	事務事業No.	50803000234	所属課	生活環境課
-------	-----------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?

霞ヶ浦・北浦流域における水質汚濁、ごみの不法投棄等、環境悪化の発生状況を的確に捉え資質汚濁を未然に防止し、水質保全対策の効果的な推進を図る。

(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?

特になし。

(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

現状維持

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	水質監視員からの通報で、水質汚濁の早期対応ができ未然防止につながっている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	地域住民の水質汚濁に関する意向を充分行政に反映させるため、水質監視員制度を設け水質保全対策の効果的な推進を図る。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	水質監視員は、適正に職務を遂行している。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	水質汚濁の未然の防止が困難になる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない	他に類似事業がない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	必要最小限の経費であるため、削減は難しい。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	市内の全河川が対象としているため公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																									
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨	水質監視員からの通報で、水質汚濁の早期対応ができ未然防止につながっている。																									
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																									
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																									
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○	×	維持			×		低下			×
		コスト																									
		削減	維持	増加																							
成果	向上		○	×																							
	維持			×																							
	低下			×																							
		(6) 事務事業優先度評価結果																									
		成果優先度評価結果	②																								
		コスト削減優先度評価結果																									

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>